



こかげの下、渡る人と風 - 元店主と地域コミュニティをつなぐ -

店を閉めたら終わりではない。

同じこかげの下で

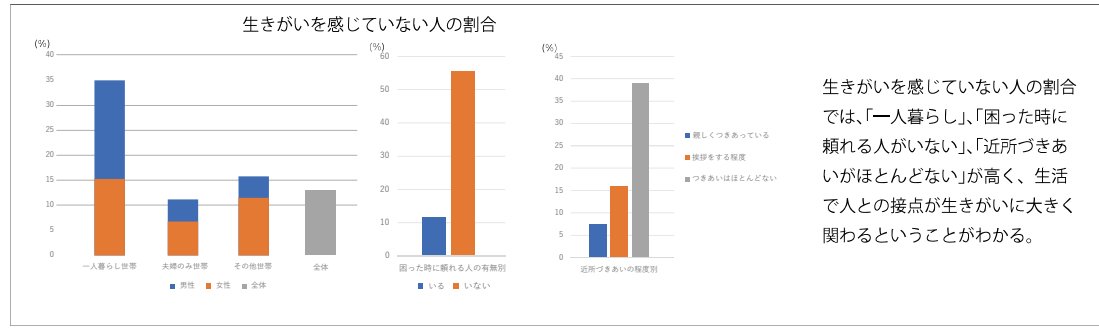
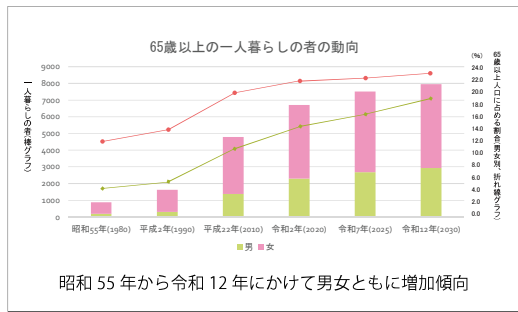
元店主が住み続けながら地域住民や新たな商売人と
笑い合い助け合いの日常をおくるための設計提案。

井澤研究室 設計

A20AB079 知久桃子

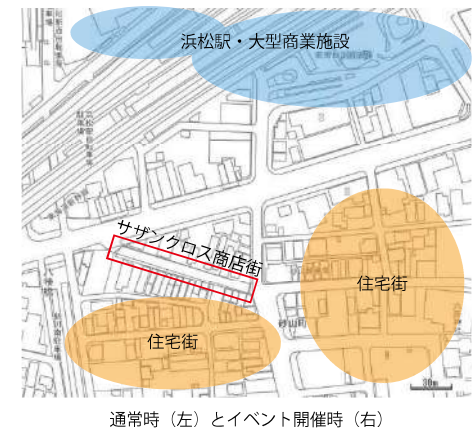
背景

近年の日本では、高齢者の社会的孤独によって「生活で生きがいを感じていない」という人が多いことが問題点としてあげられる。また、近年の商店街の衰退の原因として、大型商業施設の普及のほかに店主の後継ぎがないという理由などで空き店舗が増加傾向にある。

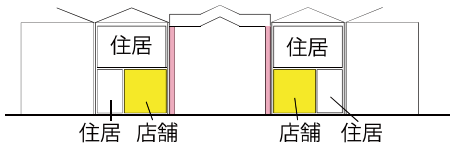


敷地設定

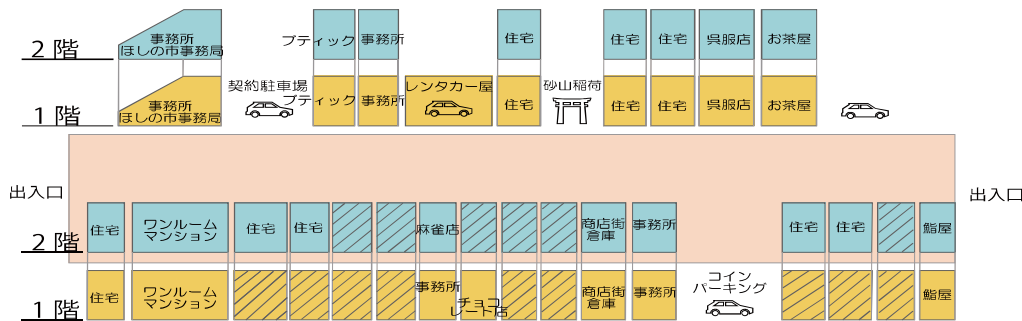
浜松市中区にあるサザンクロス商店街の一部を敷地とする。昭和の頃は活気があったが、現在は営業している店が数店舗、あとはシャッター街が目立つ。商店街としての機能が減少して以来、月に3回朝市やマルシェを行っている。活動的でJR浜松駅から徒歩5分の好立地ということもあり、場所としての価値は非常に高いといえる。



敷地調査



商店街はアーケード付きで、各店は2階建てのものが並んでいる。かつての店の形態は1階が店舗で1階奥と2階が住居になっているものが多い。



北側は営業中の店舗が数店と空き店舗を解体して新しい住宅を建てたりしている。南側は半分以上が空き店舗 (斜線の部分) であり、中には住民のいる空き店舗もある。

インタビュー調査

1. 商店街にある店にインタビュー

日時：2023年6月 ご協力店舗：まるい園、nonet

質問	回答
・店の自慢話	
・一階と二階の様子、どんな構造になっているか	
・シャッターになっている店は住人がいるのか	
・商店街に対する思い	
・マルシェのことをどう思っているか	
・客足の様子と住民の人との交流はあるのか	
・コミュニティの場として存続するにあたってなにか工夫をしているのか	
・経営維持のための工夫	

2店の回答からわかる課題点

- ・日常時のにぎわいが少ないのはもちろん、地域住民との交流も疎遠になっている
- ・周辺環境は良く空き店舗が多いため借りたいという声もあっているが、貸したくても空き店舗住民は高齢者が多くなかなか動き出せない、また住民とのプライバシーもあるので難しい

2. 元店主にインタビュー

日時：2023年 ご協力店舗：旧アツマヤ靴店

質問	回答
・一日の過ごし方	ホーツとして過ごす時間と、老老介護で病院や施設に必要な物を届けたり、面会に行ったり今は忙しかけている。
・近隣の方々との交流	商売をしていた頃は毎日ご近所さんや友達がお店でおしゃべりに来てくれたが、それがなくなって寂しい。今はこちらから、近所の友達を訪ねて情報交換をしている。
・趣味はあるか	趣味は特になし。料理が好きだけど、今は一人なのでデパ地下などで買うことが多くなった。
・なぜ閉業してしまったのか	2年前の年末で廃業。高齢、コロナで人が減り、顧客は小売店ではなく大型店へ行ってしまった。
・商売することの魅力	親がやっていた商売なので、何も考える事なく継ぐものだと思ってやってきた。仕方なく...という気持ちもあった。
・店舗スペースの現在	陳列棚は処分し手間と費用がかかるためそのまま置いてある。店舗も手をつけずそのままの状態。先月、商店街のイベントの時には、出演者の控え室として使ってもらった。

調査から得た設計に必要な要素

- ・忙しさからリフレッシュできる
- ・お互いが集まろうと思える
- ・大型店では味わえない楽しみ方ができる
- ・商売をした人が商売をできる場にする
- ・元店主が商売を続けなくても2階の住居部分に住み続けながら空き店舗を活用する

元店主の人々ため
かつては店の経営が生活の軸であり
生きがいのひとつだったが、
高齢となり後継者がいなく、
店を閉め空き店舗になっている



高齢者のため
昔の時代ほど根強い近所交流
はない現代で、今の高齢者も未
来の高齢者（特に単身高齢者）
も頼れるひとがない、人との
交流が生きがいのひとつになる



商店街の空き店舗を活用し、
元店主が住み続けながらその地
域に住む高齢者や新しく店を出
したい人をつなぎ、
余暇活動の向上、地域事や商売
事の情報共有などができる
コミュニティの場を提案する。

街に潜んだこかげ（同じ屋根の下）で
地域の人々と過ごし日常の余暇時間に
彩りをあたえる。



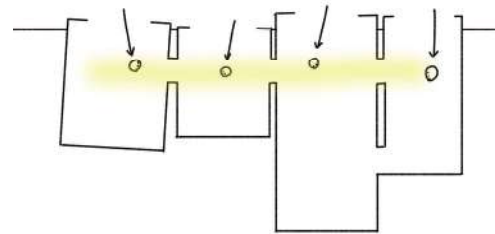
建物名称
「こかげ家（こかげや）」



デザインコンセプト - 渡る人と風 -

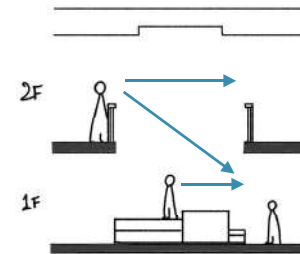
1. 横の風（こかげこみち）

四棟を分けるのではなく、ひとつの廊下（こみち）
のように繋げることで、別のフロアにも行き来しや
すく、同じ屋根の下にいるような感覚を生み出す。



2. 縦の風

2階に吹き抜けをつくることで上下の部屋に繋がりを持たせ、会話など
の音を感じられる。2階の住居の入口に大きな隔てはつからないことで、
孤独感の解消、交流のしやすさが期待できる。



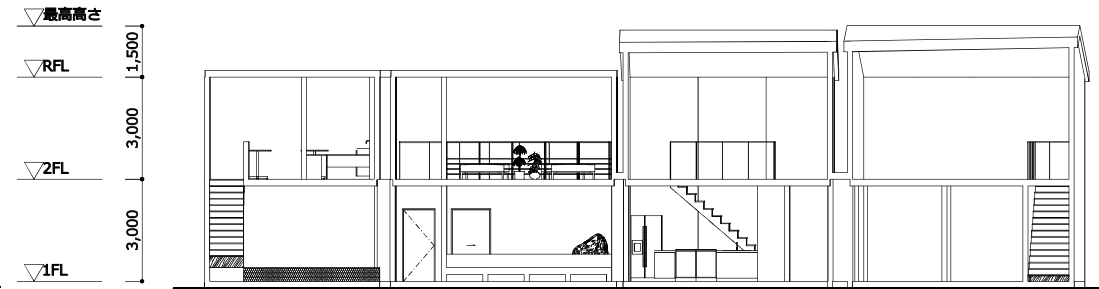
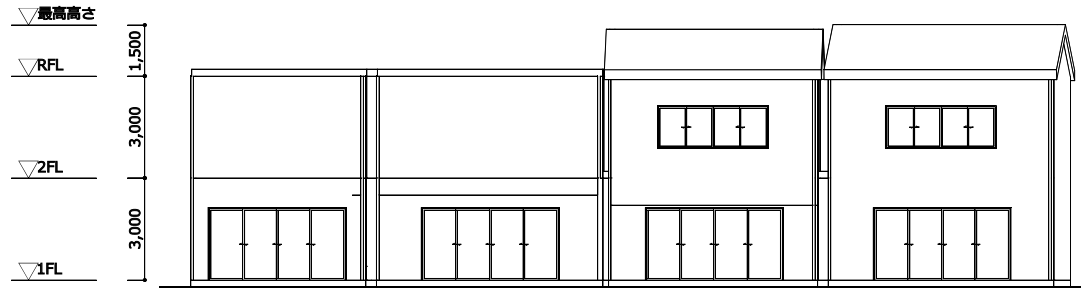
システム



会員登録制で出店ができるサービスを行う。
管理人がいるので住民や高齢者の負担はない。



食事・洗濯の家事の負担を軽減。空き店舗貸
出人は一日一食無料。常在スタッフと空き店
舗利用者が日替わりで受付や清掃を担当する。



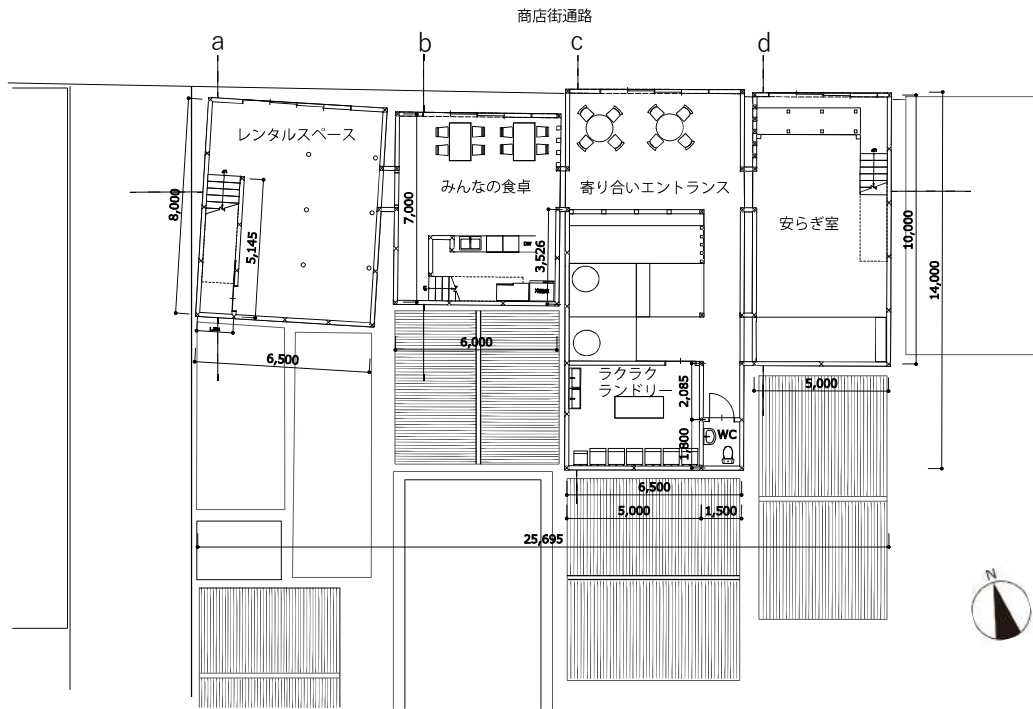
寄り合いエントランス

広い空間に縁側風ベンチや芝生スペースを設け、
 気軽に寄りたくなるようなエントランス。
 段差や吹き抜けで開放感があり目線も楽しく自由に。



ヘルスカフェ

健康に特化したドリンクやコーヒーを販売。
 地域住民の運動を促進する。



ラクラクランドリ

店舗貸し出し人は無料、
地域住民であれば安価で使用可能。
外の様子は見えるようガラス張りに



安らぎ室

なじみやすい安心感がありつつ、
開放的な和室でゆったり時間を過ごす。



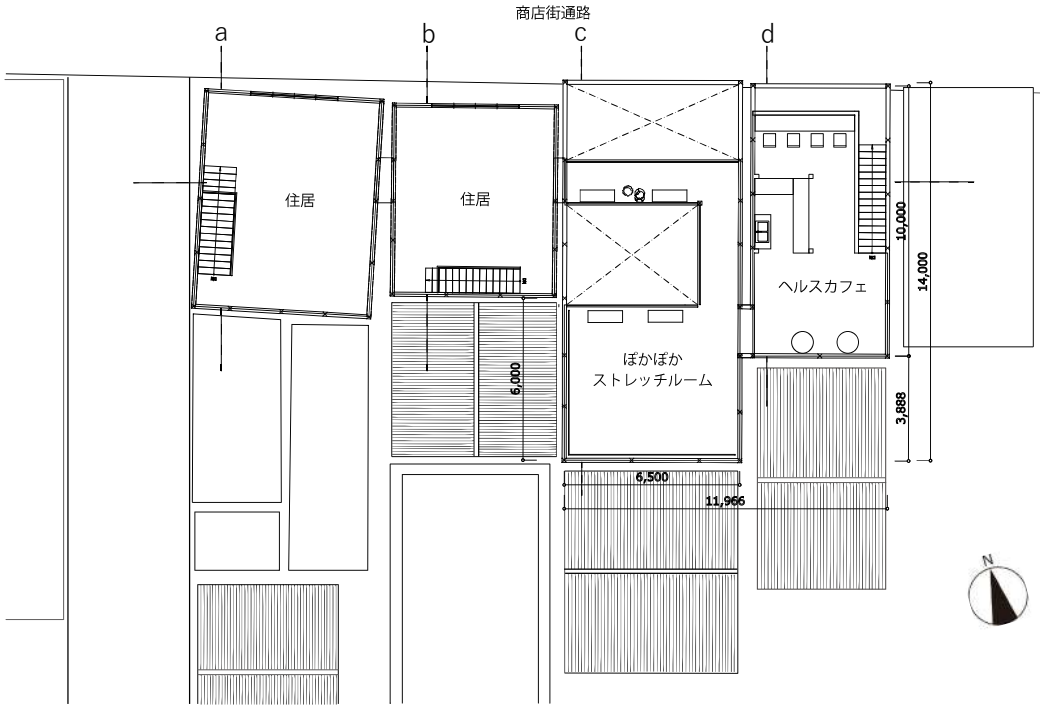
レンタルスペース

主に“売り場”として貸し出しをする。スペースの分けができるように木の柱を
設置することで、簡易的で多様な使い方ができる。

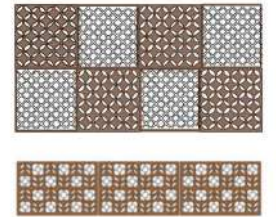


みんなの食卓

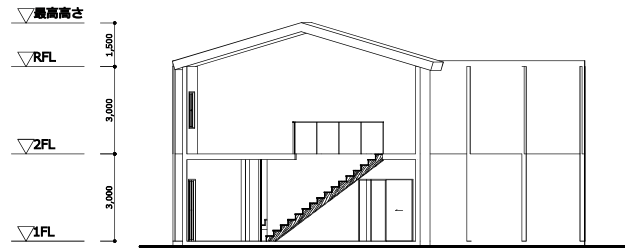
栄養バランスのとれた食事を安価で食べることができる。
家庭の賑やかな食卓をイメージ。



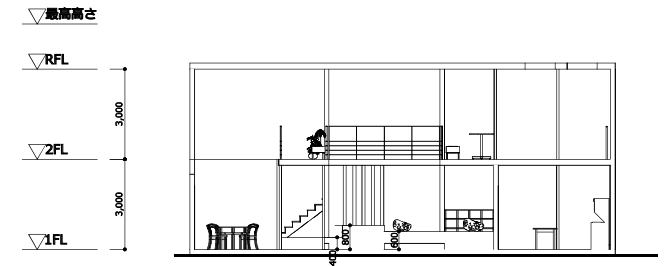
建物の形、アーケードなどはそのままで、
レトロ模様の木加工を施し、
こかげの下にいるような木(スギ)で包まれた空間に。



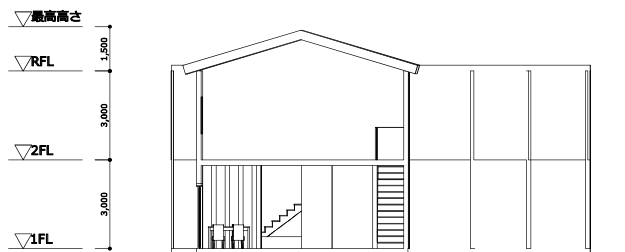
西 - 断面図 a 1/100



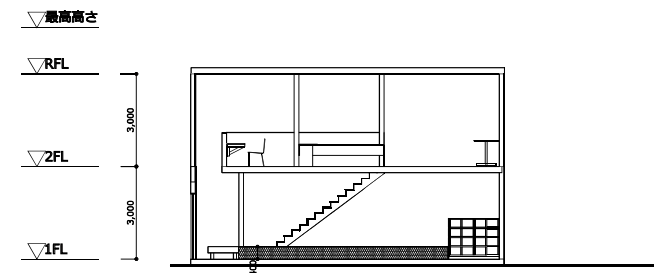
西 - 断面図 c 1/100



西 - 断面図 b 1/100



西 - 断面図 d 1/100



ぼかぼかストレッチルーム

天窓から差し込む光で暖かく過ごしながら
ヨガやピラティスなどの軽運動ができる。